

交渉結果報告書

市長公室人事課

交渉内容 2024年夏季重点要求書の回答等について

交渉日時 令和6年6月26日(水) 15時05分～17時00分
交渉場所 水道庁舎 3階大会議室
交渉出席者 当局側 川口副市长 秋元市長公室長 蒲原市長公室副部長 岡野人事課長
足立人事課副課長 山村人事研修係長 加島給与係長
組合側 福田執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計9人

概要	要
組合の主張	<p>2024年夏季重点要求書の回答等を行った</p> <p>採用試験の実施等、欠員補充のために手を尽くしていただいていることは感謝しているが、試験の結果、十分な人が集まらなかった場合、その原因分析と対策を行わないと改善できない。</p> <p>今年の人事院勧告は、民間の賃上げを受けて給料は引きあがる見込みだが、給与制度のアップデートの中で地域手当などが引き下げになる可能性もある。もしも勧告に引下げの要素があっても、当局はこの間、職員にとって厳しい見直しを続けている現状を認識して、職員の生活を守る姿勢で検討してほしい。</p> <p>7～8月の夏季休暇について、この間、新型コロナウイルスの影響で取得可能期間を9月までとしていたが、コロナが5類に移行した後も7～9月とする理由は何か。</p> <p>作業技師削減方針に関する、各職場での合意形成の進展が見られない。各職場が納得すればそれでよいが、そのための当局側からのアクションが薄いように感じる。現場管理職にその旨伝えてもらいたい。</p>
当局の主張	<p>ただ事務的に募集と試験を繰り返すだけでは優秀な人材の確保は難しくなっている。人数と質を確保するための方策を検討していきたい。</p> <p>人事院勧告の詳細はまだ我々にもわからないが、地域手当などは、仮に引き上げられたとしても人件費に大きな影響を及ぼす。また、引下げの場合は職員の生活に大きな影響を与えることになる。それらを意識したうえで、内容を精査して検討したい。</p> <p>この間、9月まで夏季休暇を取得できた方がよいという職場の声も聴いており、職員がより取得しやすくなるよう判断したものの。</p> <p>改めて現場管理職に伝えるので、管理職から協議の依頼等があった際にはよろしくお願ひしたい。</p>